



2015年度(平成28年3月期)

決算補足説明資料

2016年5月10日

パルテック株式会社

東京証券取引所市場 第一部

証券コード:4337

[1] 2015年度 業績の概要

1) 決算のポイント

2) 業績 ①～⑤

3) 中期経営計画の進捗状況

4) 主な取り組み

①既存事業の安定的な成長

②メディア・コンテンツビジネスへの新たな取り組み

③チケットサービスとメディア・コンテンツビジネスの融合

④CSR活動他

[2] 2016年度 業績及び配当予想

中期経営計画の数値目標



1) 決算のポイント

- **売上** 売上高は、チケット流通事業の好調を受け、期初予想を116億円以上、大幅に上回る形で伸長。
過去最高を記録。
- **利益** 営業利益・経常利益・当期利益ともに、前期、及び期初予想を上回る**増益**で着地。
黒字額の拡大基調を継続。
- **配当** 1円の**増配**。期初予想から1円の増額。



2) 業績 ① 期初予想との比較

チケット流通事業がスポーツを中心に全ジャンルで伸張し、
 期初予想から、売上高・営業利益・経常利益・当期利益ともに
 良化。

【連結】 期初予想との比較

百万円単位

	期初予想 (昨年5/14発表)	業績修正 (4/28発表)	2015年度 実績	期初予想との差
売上高	127,000	138,000	138,624	+11,624 良化↑
営業利益	1,200	1,500	1,527	+327 良化↑
経常利益	1,200	1,450	1,472	+272 良化↑
当期利益※	1,000	1,150	1,209	+209 良化↑

※親会社株主に帰属する当期純利益です。



2) 業績 ②前年比較

野球、サッカー、大相撲を中心に、スポーツ市場が好調に推移。
インターネット販売の伸張を受けて、売上、営業利益、経常利益、
当期利益ともに増加。

【連結】 前年比較

百万円単位

	前年度	2015年度	前年比
売上高	127,145	138,624	+ 9.0%
営業利益	1,270	1,527	+20.2%
経常利益	1,285	1,472	+14.6%
当期利益 ※	1,187	1,209	+1.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

2) 業績 ③ 連結損益計算書(要約)



百万円単位

	【前年度】	【2015年度】	【前年度差】
売上高	127,145	138,624	+11,478
売上原価	116,034	126,858	+ 10,823
差引売上総利益	11,110	11,765	+654
販管費	9,839	10,238	+398
営業利益	1,270	1,527	+256
営業外収益	33	19	△14
営業外費用	19	73	+54
経常利益	1,285	1,472	+187
税引き前当期純利益	1,289	1,446	+156
法人税等合計及び非支配株主利益	102	237	+135
親会社株主に帰属する当期純利益	1,187	1,209	+22
包括利益	1,237	1,196	△ 41



2) 業績 ④ 連結貸借対照表(要約)

百万円単位

資産の部		
	【前年度】	【2015年度】
現預金	13,120	15,110
売掛金等	13,695	15,653
商品等	135	169
その他	1,570	1,794
流動資産:前年度比4,206増加		
流動資産	28,521	32,728
有形固定	301	412
無形固定	1,255	1,304
投資その他	1,474	1,503
固定資産:前年度比188増加		
固定資産	3,031	3,220
資産合計	31,553	35,948

負債の部		
	【前年度】	【2015年度】
流動負債:前年度比3,063増加		
流動負債	24,588	27,651
固定負債	753	656
負債合計	25,341	28,307
純資産の部		
資本金	4,239	4,612
資本剰余金	402	775
利益剰余金	1,619	2,617
自己株式	△61	△361
他包括利益	△43	△62
非支配株主持分	52	58
純資産合計	6,211	7,640
負債純資産合計	31,553	35,948



2) 業績 ⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	【前年】	【2015年度】	【前年度比】 百万円単位
税引き前当期利益	1,289	1,446	+156
減価償却費	491	530	+ 39
売上債権の増減	741	△ 1,958	△ 2,700
仕入債務の増減	△3,314	2,467	+ 5,781
その他	△285	468	+ 754
利息・税金等	△121	△180	△59
営業キャッシュ・フロー	△1,198	2,773	+3,972
無形固定資産の取得	△523	△524	△0
その他	△543	△307	+236
投資キャッシュ・フロー	△1,067	△831	+235
財務キャッシュ・フロー	△906	47	+ 953
キャッシュの増減	△3,172	1,989	+ 5,161

3) 中期経営計画(2015～2017年度)



中期経営計画の概要

① 既存事業の安定的な成長

レジャー・エンタテインメント領域における、チケット流通を軸としたぴあのブランド・サービス・プラットフォームを継続的に強化し、よりお客様に支持されるチケットサービスを展開する。

② メディア・コンテンツビジネスへの新たな取り組み強化

レジャー・エンタテインメント領域において、当社グループが豊富に有するお客様とのコミュニケーションや多岐にわたる取引先との事業機会を最大限に活用し、興行・イベント或いは関連商品・メディアの作り手としての事業に取り組む。

③ チケットサービスとメディア・コンテンツビジネスの融合

チケットぴあを中心としたプラットフォームと新たな取り組みによるコンテンツ創造の両軸により、コンテンツ供給からユーザー体験までをトータルに提供できる独自性のあるビジネスモデルの確立を目指す。



4) 主な取り組み ① 既存事業の安定的な成長

チケット流通を軸としたぴあのブランド・サービス・プラットフォームの強化を目指し、お客様に支持をされるチケットサービスを展開

◆スポーツソリューションについて

チケット販売から会員組織、行動履歴までをぴあが管理し、チームと一体となったマーケティングを実施。スポーツイベント市場を活性化

オフィシャルチケットングパートナーとして、チケット取扱い



◆日本プロサッカーリーグ



◆日本相撲協会



◆日本ラグビー協会

クラブチームの会員管理、チケット販売、グッズ販売等を支援



◆セレッソ大阪



◆横浜F・マリノス



◆名古屋
グランパスエイト

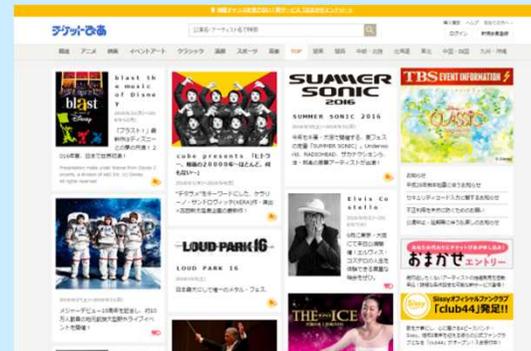


◆横浜DeNAベイスターズ



◆ヤクルトスワローズ

◆「チケットぴあ」Webサイトのリニューアル ～スマートフォン利用での利便性を向上～



2015年度、スマートフォンでのチケット購入金額がPCの購入金額を上回る
⇒スマートフォンで使いやすい、レスポンスデザインにリニューアル

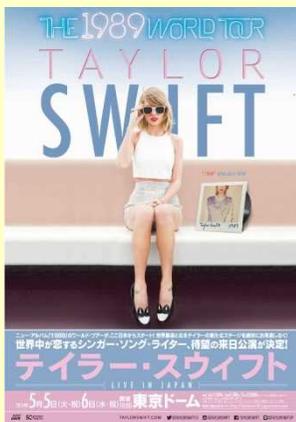
◆新サービス「おまかせエントリー」をリリース ～チケットぴあWebサイト(PC、スマートフォン)の利用拡大～



「事前に行きたい公演の条件を設定しておく、抽選発売に“当選するまで”自動で申し込みができる機能

4) 主な取り組み ② メディア・コンテンツビジネスへの 新たな取り組み強化 (1/3)

主催(共催/出資)興行を拡大。話題の公演にも出資参画



◆テイラー・スウィフト

<http://taylorswift-japantour.com/>



◆ブロードウェイ・ミュージカル
「天使にラブ・ソングを・・・」

http://theatre-orb.com/lineup/15_sister/



◆マグリット展

http://www.nact.jp/exhibition_special/2015/magritte2015/



◆リアル脱出ゲーム×ONE PIECE
第二弾「頂上戦争からの脱出」

<http://realdgame.jp/onepiecetour/>
©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



◆TOKYO METROPOLITAN ROCK
FESTIVAL 2015

<http://metro.rock.jp/>
©METROCK 2015 All Rights Reserved



◆Dortmund Asia Tour 2015
川崎フロンターレ vs ボルシア・ドルトムント

https://www.jleague-ticket.jp/topics/2015/05/0519_01



◆大相撲夏巡業 仙台場所

<http://t.pia.jp/pia/event/event.do?eventCd=1512267/>



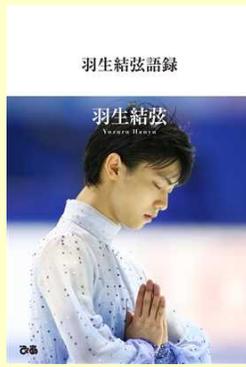
4) 主な取り組み ② メディア・コンテンツビジネスへの 新たな取り組み強化 (2/3)

エンタテインメント、レジャー領域を中心に話題のコンテンツをメディア化

◆エンタテインメント関連本のヒット商品



<http://piabook.com/shop/g/gC9784835625584/>



<http://piabook.com/shop/g/g9784835628486/>



<http://piabook.com/shop/g/g9784835628509/>

◆人気のアイテムをいち早くメディア化



<http://piabook.com/shop/g/g9784835624693/>



<http://piabook.com/shop/g/g9784835629605/>



<http://piabook.com/shop/g/g9784835625812/>

◆レジャーMOOKも堅調



食本シリーズ好調、
合計80タイトルを刊行

<http://piabook.com/shop/g/g9784835625638/>

<http://piabook.com/shop/g/g9784835625317/>

<http://piabook.com/shop/g/g9784835624839/>



<http://piabook.com/shop/g/g9784835629100/>

◆話題のテーマをイベント&MOOK化

2016年3月、横浜で「パンのフェス」を初開催。3日間で12万人の動員に成功



<http://piabook.com/shop/g/g9784835629308/>

<http://pannofes.jp/>



4) 主な取り組み ② メディア・コンテンツビジネスへの新たな取り組み強化 (3/3)

業務提携先とのコラボレーションを引き続き強化

◆KDDI



KDDIとの業務提携により、auスマートパス(※)会員向けに運営するエンタテインメントサイト「uP!!!」。各種ライブイベントを開催し、連携強化を図っている。



(※)auスマートフォン向け定額サービス

エンタテインメントサイト「uP!!!」



新人ライブイベント「uP!!!NEXT」
vol.11 SHISHAMO
vol.12 米津玄師

ぴあ×KDDI、スペースシャワーTVによる音楽イベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC supported by SPACE SHOWER TV」



◆7&iグループ



話題の公演への共同参画



フリーペーパー『7ぴあ』の発行

店頭プロモーション連動



PB商品、キャンペーン等の展開





4) 主な取り組み

③ チケットサービスとメディア・コンテンツビジネスの融合ほか

独自性のあるサービスの開発に着手

◆コンテンツ供給からユーザー体験までをトータルに提供



◆「ファンクラブサービス」の本格化

ぴあの仕組み、システム、ノウハウを活用し、アーティストのファンクラブを運営



◆Twinkle ICE Members



◆原宿駅前ステージ ランウェイ・メンバーズ

◆書店活性化プロジェクト

ぴあ主催イベントと書店店頭との連携により、相互送客と増売を目指しトータル共同企画を展開



◆大昆虫展



◆暁のヨナ

◆エンタメの思い出を形に

廃材をメモリアルグッズに甦らせ、チケットぴあのシステムを活用して販売



国立競技場の自由席シートをデザインチェアに

ホテルオークラの調度品や備品をアクセサリーや雑貨に



◆日本のコンテンツを東アジアへ

ぴあグローバルエンタテインメント株式会社を2015年秋に設立



2014年12月設立の「ぴあ希肯(北京ぴあ希肯国際文化发展有限公司)」とともに、日本のコンテンツホルダーによる中国での興行展開をサポート



4) 主な取り組み CSR活動ほか

◆一般社団法人チームスマイルによる復興支援活動 <http://www.team-smile.org/>

東日本震災の発生以来、エンタテインメントによる継続的な復興支援を目指して活動をし、今年3月に「仙台PIT」がオープンし、遂に4つの活動拠点が完成。各拠点での様々な活動がスタート

「“わたしの夢”応援プロジェクト」第一弾として、有森裕子さんの特別講演会を開催（いわきPIT）



2014年10月に「豊洲PIT」オープン、順調に稼働



2015年7月24日「いわきPIT」オープン

2016年1月9日「釜石PIT」オープン



2016年3月11日に「仙台PIT」オープン



こけら落とし公演はプリンス プリンセス

◆第37回PFF (ぴあフィルムフェスティバル) を開催

<http://pff.jp/>



PFFアワード2015のグランプリ作品「あるみち」が東京国際映画祭で上映。ベルリン国際映画祭へも正式出品



◆「ぴあ個人株主懇談会」を開催

2015年11月：関西圏在住の方を対象に大阪にて開催

2016年2月：九州圏在住の方を対象に福岡にて開催



[2] 2016年度 業績及び配当予想



中期経営計画の2年度目。
新たなコンテンツ創出や周辺事業の強化に向けた、チャレンジの年。

百万円単位

【連結PL】	上期		通期	
	【2015年度】	【2016予想】	【2015年度】	【2016予想】
売上高	74,587	70,000	138,624	140,000
営業利益	842	750	1,527	1,500
経常利益	814	700	1,472	1,400
当期利益 [※]	680	600	1,209	1,200
1株あたり配当金	—	—	16.00円	16.00円

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

[3] 中期経営計画(2015～2017年度)



中期経営計画の数値目標

【連結ベース】

単位:億円

	2015年度 計画(初年度)	2015年度 実績	2016年度 計画(2年目)	2017年度 計画(最終年度)
売上高	1,270	1,386	1,400	1,400
営業利益	12	15.2	15	18
経常利益	12	14.7	14	18
税前当期利益	12	14.4	14	18
当期利益※	10	12.0	12	12
償却前営業利益	21	20.5	22	28
ROE (%)	14.3	15.8	14.7	15.0

※親会社株主に帰属する当期純利益です。